



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月4日
東

上場会社名 株式会社DTS 上場取引所
コード番号 9682 URL <https://www.dts.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北村 友朗
問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 塩田 章雄 (TEL) 03-3948-5488
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	32,908	13.9	3,750	26.0	3,946	30.1	2,696	32.1
2025年3月期第1四半期	28,889	8.2	2,976	13.7	3,033	11.9	2,041	11.2

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,855百万円(19.7%) 2025年3月期第1四半期 2,384百万円(12.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	67.16	—
2025年3月期第1四半期	47.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	74,766	56,995	74.6
2025年3月期	80,387	59,344	72.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 55,741百万円 2025年3月期 58,061百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	50.00	—	77.00	127.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	60.00	—	20.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、2025年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行う予定です。2026年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しています。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年3月期(予想)の期末配当金は80円00銭、年間配当金は140円00銭となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	135,000	7.2	15,500	7.0	15,850	2.5	10,900	2.5	68.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2026年3月期(予想)の1株当たりの当期純利益については、「2. 配当の状況」に注記した株式分割を考慮した金額を記載しています。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2026年3月期(予想)の1株当たり当期純利益は、274.07円となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料] 9 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	41,498,032株	2025年3月期	41,498,032株
2026年3月期1Q	1,632,826株	2025年3月期	1,202,005株
2026年3月期1Q	40,151,708株	2025年3月期1Q	42,739,117株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、[添付資料] 4 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(第1四半期連結累計期間)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(第1四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	11
3. その他	12
生産、受注及び販売の実績	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復しているものの、アメリカの通商政策の影響や物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響などが、わが国の景気を下押しするリスクとなっており、このところ不透明感がみられます。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要があります。

当社グループを取り巻く環境は、テクノロジーの進展に伴い、世の中の経営層のアジェンダは顧客との関係強化・データドリブン経営等がメインテーマとなり、それらと相互影響しながら、企業のIT投資は情報系・顧客接点系へシフトしていくことを見込んでいます。

このような状況下において当社グループは、Vision 2030の2nd Stageとなる中期経営計画(2025-2027)では、「フォーカスビジネスの進化と堅守ビジネスの深化」、「戦略的アライアンスの実行」、「グループ経営基盤の強化」を3つの柱とし、事業の成長・拡大、安定性・信頼性の強化を推進していきます。

また、当期では売上高1,350億円（前年同期比7.2%増）、営業利益155億円（前年同期比7.0%増）、EBITDA167億円（前年同期比6.9%増）を目指しています。

■「フォーカスビジネスの進化と堅守ビジネスの深化」

中期経営計画(2025-2027)では、当社グループの成長領域として取り組みを強化しているフォーカスビジネス（注1）の中に、集中投資領域（注2）と先行投資領域（注3）を新たに設定しました。

2028年3月期までに売上高に占めるフォーカスビジネス売上高の比率57%を目標として推進しています。当第1四半期連結累計期間のフォーカスビジネス売上高比率は60.7%となり、順調に推移しています。

2025年4月、先行投資領域への挑戦として、生成AI領域における顧客のAI活用支援、自社ソリューションへの組み込み、自社開発工程での活用を推進するため、GenAIビジネス推進室を新設しました。生成AIなどの活用により顧客の事業価値向上を実現し、2030年度におけるAIおよび生成AI関連の売上高100億円を目指します。

（注1）フォーカスビジネス

当社グループとして、今後注力していくビジネス領域。

（注2）集中投資領域

更なる事業規模の拡大を図るため、フォーカスビジネスの中でも特に成長が見込まれる5つの領域である①クラウド&モダナイゼーション、②データ活用、③セキュリティ&マネージドサービス、④Enterprise Application Services、⑤IoT&エッジテクノロジーを集中投資領域として再定義したものの。

（注3）先行投資領域

今後の急速な市場拡大と顧客の事業価値向上が見込まれる領域。AI・生成AI、CX（顧客体験価値）を対象としたもの。

■「グループ経営基盤の強化」

経営基盤の強化として、人的資本への投資、グループガバナンス、システム基盤の強化および資本効率向上を図り、持続的・安定的な企業価値向上を目指しています。

資本効率の向上、中期経営計画に基づくキャッシュアロケーションの実現および株主への一層の利益還元を図るため、2025年5月から7月にかけて約25億円の自己株式を取得し、2025年8月にすべて消却する予定です。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、329億8百万円(前年同期比13.9%増)となりました。

売上総利益は、売上高の増加により72億17百万円(前年同期比15.7%増)となりました。

販売費及び一般管理費は、34億67百万円(前年同期比6.2%増)となりました。売上総利益が増加し、営業利益は、37億50百万円(前年同期比26.0%増)、経常利益は、39億46百万円(前年同期比30.1%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、経常利益の増加などにより、26億96百万円(前年同期比32.1%増)となりました。

(単位：百万円)

	連結	対前年同期増減率
売上高	32,908	13.9%
営業利益	3,750	26.0%
経常利益	3,946	30.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,696	32.1%

<売上高の内訳>

(単位：百万円)

	連結	対前年同期増減率
業務&ソリューション	13,390	11.8%
テクノロジー&ソリューション	11,183	10.8%
プラットフォーム&サービス	8,334	22.3%
合計	32,908	13.9%

各セグメントにおける営業概況は、次のとおりです。

業務&ソリューションセグメント

公共向けのシステム開発や銀行業のモダナイズेशन関連案件などが好調に推移し、売上高は133億90百万円(前年同期比11.8%増)となりました。

フォーカスビジネスへの取り組みでは、金融分野および公共分野などの業界知見にデジタル技術を組み合わせ、クラウドシフトやマイグレーションなどの集中投資領域を拡大し、事業成長を推進していきます。

TRM Labs, Inc. が提供する暗号資産追跡およびリスク管理ツール「TRM Labs」の提供を開始しました。TRM Labsは、政府機関や金融機関向けに、ブロックチェーン分析を支援する機能などを備えており、暗号資産取引の安全性向上に貢献していきます。当社のマネー・ロンダリング対策ソリューションのAMLionと組み合わせることで、暗号資産を含む金融取引におけるリスク検知、マネー・ロンダリング対策およびテロ資金供与対策業務の高度化を推進していきます。

当社グループ会社の株式会社東北システムズ・サポートはピッキングや検品業務における作業効率の向上を実現したRFIDリーダーとして、ウェアラブル型の「MR20」およびバーコードスキャン機能搭載のハンディ型「SR160」を発売しました。今後もRFIDソリューションのさらなる拡大と、物流・製造・小売業界におけるDX推進に貢献していきます。

テクノロジー&ソリューションセグメント

クラウド基盤関連や業務基幹システムの刷新などが好調に推移し、売上高は111億83百万円(前年同期比10.8%増)となりました。

フォーカスビジネスの取り組みでは、Enterprise Application Servicesなどの集中投資領域の拡大に加え、生成AIなどの先行投資領域への挑戦を進めることで、当社グループのフォーカスビジネス拡大を牽引していきます。

2025年5月、当社が取り組んだ初のmcframe導入プロジェクトにおいて、高品質な導入支援および拡張性を見据えた提案力が評価されビジネスエンジニアリング株式会社による「mcframe Award 2025」における「Take Off Award」を獲得しました。今後も、製造業の業務改革とデジタル化推進に向けて取り組んでいきます。

ハウジングソリューションでは、階段やバルコニーの意匠表現を大幅に強化し、さらにレンダリング処理の高速化を実現することで、設計効率と提案力を高めた「Walk in home 2024 Version1.1」の提供を開始しました。今後もハウジングソリューションを提供し、住宅・建設業のデジタル化に貢献していきます。

プラットフォーム&サービスセグメント

運用、基盤構築案件やハードウェア販売の拡大により、売上高は83億34百万円(前年同期比22.3%増)となりました。

フォーカスビジネスへの取り組みでは、当社のReSM(リズム)／ReSM plus(リズムプラス)を中心とした運用サービスメニューの拡充に加え、AIを活用した障害復旧時間の短縮などによる運用サービスの高度化を推進していきます。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

財政状態としては、総資産は、前連結会計年度末に比べ56億21百万円減少し、747億66百万円となりました。これは主に、有価証券が10億15百万円増加した一方で、現金及び預金が46億43百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が24億77百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ32億71百万円減少し、177億70百万円となりました。これは主に、賞与引当金が19億6百万円、未払法人税等が16億6百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ23億49百万円減少し、569億95百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が26億96百万円、その他有価証券評価差額金が3億21百万円増加した一方で、剰余金の配当の実施により利益剰余金が31億2百万円減少し、自己株式の取得により自己株式が21億1百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、2025年5月1日に公表した業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,922	25,278
受取手形、売掛金及び契約資産	23,847	21,370
有価証券	596	1,611
商品及び製品	1,130	1,112
仕掛品	368	272
原材料及び貯蔵品	86	72
その他	1,869	2,278
貸倒引当金	△22	△20
流動資産合計	57,798	51,975
固定資産		
有形固定資産	4,335	4,434
無形固定資産		
のれん	4,988	4,884
その他	911	853
無形固定資産合計	5,900	5,737
投資その他の資産		
その他	12,360	12,625
貸倒引当金	△6	△7
投資その他の資産合計	12,353	12,618
固定資産合計	22,588	22,790
資産合計	80,387	74,766

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,566	6,719
未払法人税等	3,160	1,554
賞与引当金	3,754	1,847
役員賞与引当金	72	37
受注損失引当金	27	8
その他	5,864	6,839
流動負債合計	20,445	17,006
固定負債		
退職給付に係る負債	254	259
その他	341	504
固定負債合計	596	763
負債合計	21,042	17,770
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,113	6,113
資本剰余金	4,992	4,992
利益剰余金	48,562	48,156
自己株式	△4,412	△6,513
株主資本合計	55,255	52,747
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,726	2,047
為替換算調整勘定	263	158
退職給付に係る調整累計額	816	787
その他の包括利益累計額合計	2,805	2,993
非支配株主持分	1,283	1,253
純資産合計	59,344	56,995
負債純資産合計	80,387	74,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	28,889	32,908
売上原価	22,648	25,690
売上総利益	6,240	7,217
販売費及び一般管理費	3,264	3,467
営業利益	2,976	3,750
営業外収益		
受取利息	23	31
受取配当金	56	66
保険解約返戻金	1	28
その他	34	74
営業外収益合計	116	201
営業外費用		
支払利息	1	1
自己株式取得費用	2	3
為替差損	49	—
その他	5	0
営業外費用合計	59	5
経常利益	3,033	3,946
特別利益		
固定資産売却益	5	—
投資有価証券売却益	—	67
特別利益合計	5	67
特別損失		
固定資産除却損	9	0
事務所移転費用	11	—
特別損失合計	20	0
税金等調整前四半期純利益	3,018	4,014
法人税等	973	1,282
四半期純利益	2,045	2,731
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	34
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,041	2,696

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	2,045	2,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	150	321
為替換算調整勘定	206	△169
退職給付に係る調整額	△17	△28
その他の包括利益合計	339	123
四半期包括利益	2,384	2,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,314	2,884
非支配株主に係る四半期包括利益	70	△29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

(偶発債務)

当社の特定の海外子会社において、過年度にて公務員とみなされる個人等に対し不適切な支払いがなされ、それが現地の汚職防止法等の法令違反となり得ることが認識されたことから、将来現地当局による調査や起訴に至る可能性はあるものの、現時点では不確実な状況です。また、現時点で当局から課される罰金や課徴金の見積りにあっても不確定要素が多く、具体的な将来の損失額を合理的に見積もることが困難です。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	業務&ソリューション	テクノロジー &ソリューション	プラットフォーム &サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,979	10,095	6,814	28,889	—	28,889
セグメント間の内部 売上高又は振替高	434	14	95	545	△545	—
計	12,414	10,109	6,910	29,434	△545	28,889
セグメント利益	1,509	810	669	2,988	△12	2,976

(注) 1 セグメント利益の調整額に重要なものではありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	業務&ソリューション	テクノロジー &ソリューション	プラットフォーム &サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,390	11,183	8,334	32,908	—	32,908
セグメント間の内部 売上高又は振替高	415	40	167	623	△623	—
計	13,806	11,223	8,501	33,531	△623	32,908
セグメント利益	1,713	1,236	805	3,754	△4	3,750

(注) 1 セグメント利益の調整額に重要なものではありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	155百万円	202百万円
のれんの償却額	88 "	102 "

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	業務&ソリューション	テクノロジー&ソリューション	プラットフォーム&サービス	
サービス	1,255	3,109	5,372	9,738
S I ・ 開発	10,714	6,893	295	17,902
プロダクト	10	91	1,146	1,248
顧客との契約から生じる収益	11,979	10,095	6,814	28,889
外部顧客への売上高	11,979	10,095	6,814	28,889

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	業務&ソリューション	テクノロジー&ソリューション	プラットフォーム&サービス	
サービス	1,932	3,694	5,014	10,641
S I ・ 開発	11,212	7,368	2,056	20,637
プロダクト	245	120	1,263	1,629
顧客との契約から生じる収益	13,390	11,183	8,334	32,908
外部顧客への売上高	13,390	11,183	8,334	32,908

(重要な後発事象)

株式分割および株式分割に伴う定款の一部変更

当社は、2025年8月4日開催の取締役会において、株式の分割を実施することおよび株式分割に伴う定款の一部変更について決議をしています。

1 株式分割

(1) 分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えるとともに、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としています。

(2) 分割の方法

2025年9月30日を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を、1株につき4株の割合をもって分割を行います。

(3) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	40,988,732株
今回の分割により増加する株式数	122,966,196株
株式分割後の発行済株式総数	163,954,928株
株式分割後の発行可能株式総数	400,000,000株

(4) 分割の日程

基準日	2025年9月12日
基準日	2025年9月30日
効力発生日	2025年10月1日

(5) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり四半期純利益	11円94銭	16円79銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(6) その他

今回の株式分割に際して、資本金の額に変更はありません。

2 定款の一部変更

(1) 変更の理由

上記の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2025年10月1日を効力発生日として、当社定款の一部を変更します。

(2) 定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりです。

(下線は変更部分を示します。)

変更前の定款	変更後の定款
第6条（発行可能株式総数） 当社の発行可能株式総数は、 <u>100,000,000株</u> とする。	第6条（発行可能株式総数） 当社の発行可能株式総数は、 <u>400,000,000株</u> とする。

(3) 変更の日程

定款一部変更の効力発生日 2025年10月1日

3. その他

生産、受注及び販売の実績

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績は、以下のとおりです。

セグメントの名称	生産高(百万円)	対前年同期増減率(%)
業務&ソリューション	13,390	11.8
テクノロジー&ソリューション	11,183	10.8
プラットフォーム&サービス	8,334	22.3
合計	32,908	13.9

(注) セグメント間の取引は、相殺消去しています。

(2) 受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績は、以下のとおりです。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	対前年同期 増減率(%)	受注残高 (百万円)	対前年同期 増減率(%)
業務&ソリューション	12,388	10.3	14,533	19.1
テクノロジー&ソリューション	13,817	21.5	15,165	27.4
プラットフォーム&サービス	7,552	△8.7	9,836	△3.0
合計	33,758	9.3	39,535	15.4

(注) セグメント間の取引は、相殺消去しています。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績は、以下のとおりです。

セグメントの名称	販売高(百万円)	対前年同期増減率(%)
業務&ソリューション	13,390	11.8
テクノロジー&ソリューション	11,183	10.8
プラットフォーム&サービス	8,334	22.3
合計	32,908	13.9

(注) セグメント間の取引は、相殺消去しています。